

基本方針3 人権を尊重し、社会全体で取り組む教育の実現

番号	共通項目	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																				
38	<p>学校・家庭・地域の連携の推進</p> <p>担当課 教育総務課</p>	<p>事業目的 教育に対する理解を深めるため、「とくしま教育の日（週間）」を中心に、学校や市町村、教育団体等で、様々な事業を実施している。さらに広く事業を普及、啓発するためにシンボルマークを活用した広報を展開する。</p> <p>取組状況（H25年度分）</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>シンボルマークを 取った広報・啓 発</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>シンボルマークを 取った広報・啓 発</td> <td>事業の拡充</td> </tr> </table> <p>（単位：—）</p> <p>1 条例の趣旨にふさわしい事業を実施することとしており、市町村、教育機関や民間団体との協力・連携のもと、平成25年度は943事業を取りまとめた。</p> <p>2 教育委員会等で実施する関連事業にシンボルマークを活用した。</p> <p>（成果）シンボルマークを教育委員会で実施する関連行事のチラシやHPに掲載するなど、効果的な広報を実施することができた。</p> <p>（課題）市町村教育委員会や各事業団体のシンボルマークの活用も必要である。</p> <p>市町村教育委員会をはじめ、事業実施団体にシンボルマークの使用について再度周知し、事業の一体的な広報に努め、さらに広く事業を普及、啓発する。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用した「放課後子供教室」の開設を促進し、すべての子供を対象とした学習、スポーツ、文化活動や地域住民との交流活動を行うことのできる安全・安心な子供の活動拠点（居場所）づくりを推進する。</p> <p>「放課後子供教室」「放課後児童クラブ」の小学校区における実施率 163/188=87% （放課後子供教室47教室 放課後児童クラブ・児童館実施・運営数 144小学校区）</p> <p>「安全管理員等研修会」を実施し、日常の支援活動における危機管理体制について、具体的な事例や判例をもとに研修し、各教室の安全体制について確認・整備を図った。</p> <p>また、放課後子供教室、放課後児童クラブ、児童館、学校支援地域本部、学校サポーターズクラブそれぞれの代表者によるセミナー（活動発表会）を開催し、相互に事業を理解し合うとともに、事件や事故、災害発生時の対応などについて意見を交換し、情報の共有化を図った。</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H23)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>76</td> <td>87</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>82</td> <td>90</td> </tr> </table> <p>（単位：％）</p> <p>（成果）安全管理体制の整備と、セミナー（活動発表会）による情報の共有化により、円滑な教室運営が図られ、安心安全な子供の居場所づくりの推進が図られた。</p> <p>（課題）放課後子供教室においては、児童数の減少や、教育活動推進員・教育活動サポーターの人員確保が難しいなどの理由により、これまでの教室を実施できなかったり、新規教室を開設できない場合がある。</p> <p>各事業間において連携を図り、子供たちのより安全で安心な居場所づくりを促すとともに、保護者や地域の方々との理解や協力を得ることのできるよう、今後も様々な研修会等を企画・実施していく。</p> <p>活動内容紹介や教室数増加に向けた広報を行っていく。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>担当課 生涯学習政策課</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	—	シンボルマークを 取った広報・啓 発						シンボルマークを 取った広報・啓 発	事業の拡充	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	76	87					達成	82	90
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																														
—	シンボルマークを 取った広報・啓 発						シンボルマークを 取った広報・啓 発	事業の拡充																														
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																														
76	87					達成	82	90																														
39	<p>学校・家庭・地域の連携の推進</p> <p>担当課 生涯学習政策課</p>	<p>事業目的 放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用した「放課後子供教室」の開設を促進し、すべての子供を対象とした学習、スポーツ、文化活動や地域住民との交流活動を行うことのできる安全・安心な子供の活動拠点（居場所）づくりを推進する。</p> <p>取組状況（H25年度分）</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H23)</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td>76</td> <td>87</td> </tr> </table> <p>（単位：％）</p> <p>（成果）安全管理体制の整備と、セミナー（活動発表会）による情報の共有化により、円滑な教室運営が図られ、安心安全な子供の居場所づくりの推進が図られた。</p> <p>（課題）放課後子供教室においては、児童数の減少や、教育活動推進員・教育活動サポーターの人員確保が難しいなどの理由により、これまでの教室を実施できなかったり、新規教室を開設できない場合がある。</p> <p>各事業間において連携を図り、子供たちのより安全で安心な居場所づくりを促すとともに、保護者や地域の方々との理解や協力を得ることのできるよう、今後も様々な研修会等を企画・実施していく。</p> <p>活動内容紹介や教室数増加に向けた広報を行っていく。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>担当課 生涯学習政策課</p>	基準値(H23)	H25	76	87																																
基準値(H23)	H25																																					
76	87																																					

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																								
40	学校・家庭・地域の連携の推進	<p>家庭・学校・地域の連携 読書活動を推進するイベントへの参加者数(累計)</p> <table border="1"> <caption>参加者数(累計)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25 (前期)</td> <td>9,080</td> </tr> <tr> <td>H25 (累計)</td> <td>13,024</td> </tr> </tbody> </table> <p>標準値(H23) 9,080 H25 13,024</p>	年度	参加者数	H25 (前期)	9,080	H25 (累計)	13,024	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>子供の自主的な読書活動を推進するための環境整備を図る「徳島県子供の読書活動推進計画〔第二次推進計画〕」のもと、読書ボランティアのネットワークを構築し、図書館や学校等の連携を進めることにより、子供の読書活動を推進する。</p> <p>取組状況(H25年度(分))</p> <p>県立図書館において、定期的に県立図書館主催の「おはなし会」と、ボランティアによる「おはなし会」を開催するとともに、出前講座も含めた子供の読書活動を推進するための研修会を開催した。また、子供の読書活動への興味・関心を高める子供の県立図書館見学の行事も随時実施し、イベント参加者数は、2,247人であった。</p> <p>「とくしま子供読書活動推進アクション」事業において、ブックリストの普及促進のため、児童生徒を対象に、掲載図書をコメントやイラストなどで紹介する作品を募集したところ、1,232点の応募があった。</p> <p>(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>標準値(H23)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9,080</td> <td>13,024</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>9,500</td> <td>13,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 県立図書館での定期的な「おはなし会」やボランティアによる「おはなし会」の開催をはじめ、子供たちの館内見学を積極的にを行い、子供たちが本・読書にふれあう機会を拡充した。</p> <p>ブックリスト掲載図書に対するコメントやイラストなどの作品を募集し、表彰することにより、子供たちのブックリストへの関心を高めることができた。</p> <p>(課題) 県立図書館での取組は充実しているが、県内の読書ボランティア等のネットワーク作りを進めるイベントなどを、積極的に企画・実施していく必要がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>作成した両ブックリストをより一層活用した啓発活動を継続するとともに、県民や「徳島県子供の読書活動推進協議会」からの意見・提言を反映させた推進活動によって、子供の読書活動に取り組み気運を高めていく。イベントの事後アンケートを分析・考察し、より効果的な企画を検討する。</p>	標準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	9,080	13,024					達成	9,500	13,000
年度	参加者数																										
H25 (前期)	9,080																										
H25 (累計)	13,024																										
標準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																			
9,080	13,024					達成	9,500	13,000																			
41	学校・家庭・地域の連携の推進	<p>担当課 生涯学習政策課</p> <p>施策・成果指標</p> <p>学校・家庭・地域の連携 人権教育総合推進地域の指定数</p> <table border="1"> <caption>指定数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>指定数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25 (前期)</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H25 (累計)</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>標準値(H24) 2 H25 2</p>	年度	指定数	H25 (前期)	2	H25 (累計)	2	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>学校、家庭、地域社会が一体となった人権教育の総合的な取組を教育委員会との連携・協力のもとで推進し、地域全体で人権意識を培い、人権尊重の精神を高め、一人一人を大切にしながら教育の充実に資する研究を実施する。</p> <p>取組状況(H25年度(分))</p> <ol style="list-style-type: none"> 総合推進地域の指定 <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省指定として、小松島市と上板町の2地域を指定して研究を実施した。 運営協議会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・研究の進め方や成果の検証・改善等を協議した。(第1回 6月26日 第2回 2月19日) 研究成果の普及 <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育指導者研修会で、上板町の取組を報告した。(6月27日) ・文部科学省視察で、小松島市の取組について報告し協議した。(11月22日) ・ホームページで総合推進地域の取組について情報を発信した。 <p>(単位：地域)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>標準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 総合推進地域においては、教育委員会が学校と連携しながら地域全体で充実した取組を展開することができた。運営協議会では、学校教育と社会教育の取組を一緒に協議し、校種間の接続や連携・協働の視点から人権教育の総合的な推進について考えることができた。</p> <p>(課題) 研修会を開催し、各市町村の指導者に具体的な実践事例を紹介したが、研究成果の普及についてはさらに工夫する必要がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>総合推進地域における研究や取組の充実に向けた支援に努めるとともに、様々な機会を捉えてその研究成果を広め、普及を図っていく。</p> <p>担当課 人権教育課</p>	標準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	2	2					達成	2	2
年度	指定数																										
H25 (前期)	2																										
H25 (累計)	2																										
標準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																			
2	2					達成	2	2																			

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																										
42	学校・家庭・地域の連携の推進 幼児期の成長を支える取組の推進	<p>家庭の教育力の向上 家庭教育に関する学習機会を提供する講座数(累計)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>数</th></tr> <tr><td>H24</td><td>53</td></tr> <tr><td>H25</td><td>60</td></tr> </table> <p>基準値(H24) H25</p>	年度	数	H24	53	H25	60	<p>事業目的 地域ぐるみの家庭教育支援の実現に向けて、受講生のコミュニケーションスキルをはじめとした子育て支援の理論・技術の習得をめざす養成講座を実施し、地域において家庭の求めに応じた相談や情報提供などの支援活動を展開する家庭教育支援者を養成する。</p> <p>取組状況(H25年度分)</p> <table border="1"> <tr><th>基準値(H24)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>達成率(H25)</th><th>目標値(H25)</th><th>目標値(H29)</th></tr> <tr><td>53</td><td>60</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>達成</td><td>60</td><td>100</td></tr> </table> <p>(単位:回)</p> <p>評価 (成果) 祖父母世代を対象とする講座の開催により、家庭教育の学び直しや家庭教育支援に意欲的な祖父母世代のニーズに対応することができた。また、父親の子育て講座を開催し、実践的な取組を行った。</p> <p>(課題) 市町村の家庭教育支援活動において、養成講座受講者活用できるようガイダンス機能を高めていかなければならない。</p> <p>今後の取組方針 「ほのぼの家庭教育づくりプログラム事業」において、引き続き子育て世代にとつてより身近な祖父母と父親を対象に、昔の子育ての知恵の活用や父親の家庭教育参画について学ぶ家庭教育講座を開催し、家庭教育支援者を養成する。また、受講修了者の生涯学習情報ネットワーク指導者登録の促進、県教育委員会事業・主催講座での活動提供等、受講者のこれからの活動の支援を推進する。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	53	60					達成	60	100	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>「早寝 早起き 朝ごはん」をはじめとした「早寝 早起き 朝ごはん」とエコ活動」に関する取り組みを取り組むことを表す。</p> <p>取組状況(H25年度分)</p> <table border="1"> <tr><th>基準値(H24)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>達成率(H25)</th><th>目標値(H25)</th><th>目標値(H29)</th></tr> <tr><td>14</td><td>21</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>達成</td><td>16</td><td>28</td></tr> </table> <p>(単位:人)</p> <p>評価 (成果) 活動事例32点、標語118点の応募があり、工夫ある取組が多く寄せられた。目標値を超える7名を表彰することにより生活習慣確立の気運が高まった。</p> <p>(課題) 活動事例、標語・キャラクターフレズともに応募総数の拡大を図るため、表彰制度の周知を図る必要がある。</p> <p>今後の取組方針 優れた取組を表彰するのみにとどまらず、ホームページ・チラシ等を利用した実践事例の紹介に取り組み、「早寝 早起き 朝ごはん」運動とエコ活動のさらなる推進を図る。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	14	21					達成	16	28
年度	数																																													
H24	53																																													
H25	60																																													
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																																						
53	60					達成	60	100																																						
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																																						
14	21					達成	16	28																																						
43	学校・家庭・地域の連携の推進	<p>家庭の教育力の向上 「早寝 早起き 朝ごはん」にエコ活」表彰者(団体含む)数(累計)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>数</th></tr> <tr><td>H24</td><td>14</td></tr> <tr><td>H25</td><td>21</td></tr> </table> <p>基準値(H24) H25</p>	年度	数	H24	14	H25	21	<p>事業目的 「早寝 早起き 朝ごはん」をはじめとした「早寝 早起き 朝ごはん」とエコ活動」に関する取り組みを取り組むことを表す。</p> <p>取組状況(H25年度分)</p> <table border="1"> <tr><th>基準値(H24)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>達成率(H25)</th><th>目標値(H25)</th><th>目標値(H29)</th></tr> <tr><td>14</td><td>21</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>達成</td><td>16</td><td>28</td></tr> </table> <p>(単位:人)</p> <p>評価 (成果) 活動事例32点、標語118点の応募があり、工夫ある取組が多く寄せられた。目標値を超える7名を表彰することにより生活習慣確立の気運が高まった。</p> <p>(課題) 活動事例、標語・キャラクターフレズともに応募総数の拡大を図るため、表彰制度の周知を図る必要がある。</p> <p>今後の取組方針 優れた取組を表彰するのみにとどまらず、ホームページ・チラシ等を利用した実践事例の紹介に取り組み、「早寝 早起き 朝ごはん」運動とエコ活動のさらなる推進を図る。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	14	21					達成	16	28	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>「早寝 早起き 朝ごはん」をはじめとした「早寝 早起き 朝ごはん」とエコ活動」に関する取り組みを取り組むことを表す。</p> <p>取組状況(H25年度分)</p> <table border="1"> <tr><th>基準値(H24)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>達成率(H25)</th><th>目標値(H25)</th><th>目標値(H29)</th></tr> <tr><td>14</td><td>21</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>達成</td><td>16</td><td>28</td></tr> </table> <p>(単位:人)</p> <p>評価 (成果) 活動事例32点、標語118点の応募があり、工夫ある取組が多く寄せられた。目標値を超える7名を表彰することにより生活習慣確立の気運が高まった。</p> <p>(課題) 活動事例、標語・キャラクターフレズともに応募総数の拡大を図るため、表彰制度の周知を図る必要がある。</p> <p>今後の取組方針 優れた取組を表彰するのみにとどまらず、ホームページ・チラシ等を利用した実践事例の紹介に取り組み、「早寝 早起き 朝ごはん」運動とエコ活動のさらなる推進を図る。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	14	21					達成	16	28
年度	数																																													
H24	14																																													
H25	21																																													
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																																						
14	21					達成	16	28																																						
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																																						
14	21					達成	16	28																																						

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																										
44	とくしまの教育力の活用	学校の応答団体づくり 学校サポーターズクラブ設置市町村数 <table border="1"> <caption>とくしまの教育力の活用 (学校サポーターズクラブ設置市町村数)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>	年度	数	H23	5	H24	15	H25	24	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>地域による学校支援をさらに促進するため、本県ならではの取組として学校サポーターズクラブ認証制度を推進し、活動の主体となる地域の各種住民団体の連合体の成立をめざし、「地域ぐるみの学校支援事業（学校支援地域本部）」の展開と併せ、地域ぐるみの学校支援体制づくりを推進する。</p> <p>「小学校区又は中学校区」の婦人会、青年団、自治会、老人クラブ、ボランティアグループ等の地域団体を連合体として、地域で学校支援に取り組む組織に「学校サポーターズクラブ」として認定証とフラッグを授与した。</p> <p>平成25年度は1町16クラブを認証し、累計15市町52クラブとなった。</p> <table border="1"> <caption>とくしまの教育力の活用 (学校サポーターズクラブ)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(H23)</td> <td>5</td> <td>15</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>15</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：市町村)</p> <p>(成果) 15市町52のクラブを認証した。学校地域支援本部と併せて、地域による学校支援活動の広がりをみせた。</p> <p>評価</p> <p>(課題) 学校・家庭・地域が連携して学校支援活動を行うことが、地域の教育力向上につながることに伴って、市町村及び学校の理解を深める必要がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>認証クラブにおいて、これまで団体・グループが培ってきたノウハウを活かした地域の学校に対する学校支援活動の充実及び多様化・継続化を図るため、効果的な学校支援活動の方法等について情報提供などの支援を行う。また、実施市町村の推進にあたっては、施策を同じくする「地域ぐるみの学校支援事業（学校支援地域本部事業）」と併せて展開するとともに、「放課後子供教室推進事業」と連携する中で、家庭及び地域の教育力の定着・向上を目指す。</p>	年度	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	基準値(H23)	5	15				達成	15	24
年度	数																												
H23	5																												
H24	15																												
H25	24																												
年度	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																					
基準値(H23)	5	15				達成	15	24																					
45	とくしまの教育力の活用	担当課 生涯学習政策課 施策・成果指標 開かれた学校づくり 「県立学校地域開放プラン」の展開	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>県立学校において、学校の特色を活かした地域貢献活動の取組を促進する。</p> <p>事業目的</p> <p>学校が主体となって地域に開放する行事イベント等、すべての県立学校において実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開授業などの学校開放事業（人権、教育関係講演会、地域防災行事、清掃奉仕活動等） <table border="1"> <caption>とくしまの教育力の活用 (開かれた学校づくり)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>展開</td> <td>展開</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>展開</td> <td>展開</td> <td>取組内容の充実</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：-)</p> <p>(成果) 学校が実施する地域開放、地域貢献活動により、県民の教育に対する理解を深め、学校教育の振興への気運醸成に貢献できた。</p> <p>(課題) 地域交流から地域貢献への発展を促進させる必要がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>学校における地域開放、地域貢献活動を発展させ、地域と学校のつながりを一層深める。また、「とくしま教育の日」シンボルマークの活用など、積極的な広報に努める。</p>	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	基準値(H24)	展開	展開					展開	展開	取組内容の充実						
年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																				
基準値(H24)	展開	展開					展開	展開	取組内容の充実																				

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
46	とくしまの教育力の活用	開かれた学校づくり 学校評価(学校関係者評価)結果を広く公表している 学校の割合	<p>事業目的</p> <p>学校における学校評価の目的は、各学校が組織的・継続的な改善を図り、学校評価結果を公表することにより説明責任を果たすとともに、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めることである。このことから、公立の幼稚園、小・中・高及び特別支援学校における学校評価結果について、学校便りや学校のホームページへの掲載等の方法により、保護者や地域住民等に対して広く内容を周知され、学校の現状と課題について共通理解を深めて相互の連携を促し、地域とともにある学校づくりに資する。</p> <p>取組状況(H25年度分)</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H23)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>75</td> <td>平成26年12月以降</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>90</td> <td>90</td> <td>100</td> </tr> </table> <p>(単位：%)</p> <p>3年に1度実施される文部科学省による調査に準じて平成24年度間における学校評価の実施状況を調査した。調査結果は、県のホームページに掲載するとともに市町村教育委員会及び各学校に通知し、学校評価の充実改善の取組を促した。平成25年度間における学校評価の実施状況については、平成26年度に調査する予定であるが、平成25年度間における学校評価結果の公表に関しては、平成25年度内に途中経過を調査した。</p> <p>評価</p> <p>(成果) 平成24年度間の公立学校における学校評価結果の公表に際して、広く公表した学校は学校関係者評価では83.1%であった。なお、平成25年度間における状況については、平成26年度に調査し、集計結果は12月以降に公表予定である。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>(課題) 平成26年2月段階での平成25年度の公立学校における学校評価結果の公表率については、学校関係者評価は89.9%であり、今後、公表率を100.0%とすることが課題である。また、学校評価結果を公表していても、特定の学校関係者のみに公表している学校が学校関係者評価では6.8%であり、今後、この数値が0%となるよう市町村教育委員会等に対して働きかける必要がある。なお、県立学校に関しては、学校評価の結果を広く公表しており、これまでの取組を継続・充実することが望まれる。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>学校評価に関する調査結果(平成25年度間途中経過及び正式調査)を踏まえ、学校便り等での直接説明や、地域の公共施設での掲示板の活用等の具体例を参考に、学校評価結果を「広く」公表することに向けて各市町村教育委員会等に指導・助言を行う。</p>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	75	平成26年12月以降					90	90	100
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
75	平成26年12月以降					90	90	100													
47	とくしまの教育力の活用	開かれた学校づくり コミュニティ・スクールモデル校(累計)	<p>事業目的</p> <p>本事業は、保護者や地域住民が、一定の権限と責任を持って学校運営に参画し、より良い教育の実現を目指すため、地域に開かれ、地域に支えられる学校づくり(学校運営協議会制度)を推進するものである。</p> <p>取組状況(H25年度分)</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>21</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>14</td> <td>20</td> </tr> </table> <p>(単位：校)</p> <p>東みよし町内全ての小中学校がモデル校として事業に取り組み、取組状況について文部科学省で発表を行うなど、県外に広く広報・周知した。年度末には北島町内全ての小中学校が平成26年度の本事業のモデル校として新たに決定した。</p> <p>評価</p> <p>(成果) 事業の趣旨について、広報した結果、市町村の理解により順調に事業が進んでいる。東みよし町が、文部科学省でコミュニティ・スクールの取組を発表した。</p> <p>(課題) 地域に開かれ、地域に支えられる学校づくりに対しての評価には、継続が必要である。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>東みよし町が文部科学省で発表したことが、このように、成果が上がった取組を広める場(あわ教育発表会)を設定し、さらに広報する。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	13	21					達成	14	20
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
13	21					達成	14	20													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																						
48	社特とくくしまの会色あるまの化に校教対つづくり対応した魅力ある学校づくり	<p>開かれた学校づくり 「スーパーオニリーワンハイスクール事業」実施校のうち、各分野の全国大会に出場した取組(累計)</p> <table border="1"> <tr><td>基準値(H24)</td><td>0</td></tr> <tr><td>H25</td><td>4</td></tr> </table>	基準値(H24)	0	H25	4	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>本事業は、これまでのオニリーワンハイスクール事業の活動内容をさらにレベルアップさせ、各校の特徴を最大限に活かした学校独自の自由な発想により、グローバル人材の育成を図るため、全国、そして世界を目指した徳島ならではの体験・研究活動を展開する学校を支援する。</p> <p>【全国展開校】徳島北高校「Kitako Global Project～国際教育を通じてグローバル人材を育成する～」 城西高校「伝統産業は地方の宝～城西発「地産発信」プロジェクト～」 美馬商業高校「やっつて美馬商ウダツノミクス～うだつの町並みを拠点とした地域活性化～」</p> <p>【全国展開校及びグローバル展開校】 徳島商業高校「Global Prefecture TOKUSHIMA～ICTを活用した地域活性化プロジェクト～」 の4校が実施校として認定され、学校独自の計画に沿って1年間を通じた活動を実施した。</p> <p>(単位：事例)</p> <table border="1"> <tr><td>基準値(H24)</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>達成率(H25)</td><td>目標値(H25)</td><td>目標値(H29)</td></tr> <tr><td>0</td><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>達成</td><td>4</td><td>20</td></tr> </table> <p>(成果) 平成25年度は、全国規模の発表会やコンクールへの参加を義務づけた。各校は、全国そして世界へ活動発信できるように、多岐にわたる大会等へ応募し、全国大会への出場を果たすことができた。</p> <p>(課題) 全国大会出場権獲得のための、県予選や中国・四国予選で惜しくも出場権を逃したケースも多い。その取組の評価について検討する。</p> <p>1年間の活動成果を発表する生徒活動発表会を開催するとともに、大型商業施設や徳島阿波おどり空港において生徒活動パネル展を実施する。 平成26年度は3校が認定された。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	0	4					達成	4	20
基準値(H24)	0																								
H25	4																								
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																	
0	4					達成	4	20																	
49	社特とくくしまの会色あるまの化に校教対つづくり対応した魅力ある学校づくり	<p>開かれた学校づくり 「NIPPON探究スクール事業」実施校のうち、各分野の全国大会に出場した取組(累計)</p> <table border="1"> <tr><td>基準値(H24)</td><td>0</td></tr> <tr><td>H25</td><td>0</td></tr> </table>	基準値(H24)	0	H25	0	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>本事業では、我が国と郷土を愛し、他国を尊重する態度と心を育成するため、主として明治から昭和における歴史を紐解き、各時代における世界の中の「NIPPON」、日本の中の徳島の政治・経済・外交を探究する学校を育成することともに、生徒自身が「公共」について考える機会を設ける。</p> <p>徳島高等学校による「板東俘虜収容所と徳島県の大正デモクラシーについて」が採択された。 ①江戸時代後期の徳島藩、明治から大正期の徳島ゆかりの出来事・人物・産業について知り、徳島についての基礎的な知識を身につける。②第一次世界大戦前後のドイツと現在のドイツの状況について知る。③板東俘虜収容所の俘虜と徳島県人との交流を調べる。④徳島県の大正デモクラシーについて探究する。</p> <p>(単位：事例)</p> <table border="1"> <tr><td>基準値(H24)</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>達成率(H25)</td><td>目標値(H25)</td><td>目標値(H29)</td></tr> <tr><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td><td>3</td></tr> </table> <p>(成果) 取組1年目であるが、フィールドワークを中心として材料集めに意欲的に取り組んでいる。</p> <p>(課題) 集めた材料を再構成していく課程でのビジョンを明確化する必要がある。</p> <p>スーパーオニリーワンハイスクール事業とともに生徒活動発表会を開催し、活動パネル展を開催する。認定2年目である徳島高等学校と平成26年度認定校海部高等学校の取組に対する広報等について推進する。次年度に向けた卒業の広報にも取り組む。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	0	0						0	3
基準値(H24)	0																								
H25	0																								
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																	
0	0						0	3																	

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																
50	幼児期の成長を支える取組の推進	<p>幼児教育の充実 幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携への取組状況</p> <p>担当課 学校政策課</p>	<p>事業目的 本事業は、幼稚園と保育所、認定こども園、小学校との連携・接続を強化し、発達や学びの連続性を踏まえた教育活動を推進するとともに、家庭、地域社会の教育力を生かしたネットワークを構築することにより、幼児の日々の生活の連続性を踏まえた幼児教育の充実に取り組み。</p> <p>取組状況(H25年度分) 幼稚園教諭等に対して各種研修を開催し、幼保小等連携・接続における意義や実際の取組方法の指導・助言を行った。幼稚園、保育所、認定こども園と小学校との連携・接続の状況について調査し、その実態把握に努めるとともに、各市町村に対して情報提供した。</p> <p>幼稚園教育推進連絡協議会を開催し、幼保小等連携・接続における課題解決に向けた協議を行った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(単位：一)</td> </tr> <tr> <td>基準値</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>H25 推進</td> <td>H29 推進</td> </tr> <tr> <td>H26 推進</td> <td>H25 推進</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率(H29)</td> </tr> </table> <p>(成果) 幼稚園と保育所、認定こども園、小学校においては、子供たち一人一人の成長について共通認識を図るための連携への取組が図られている。</p> <p>評価 (課題) 適切な教育環境を計画的に構成し、幼児一人一人の発達段階に応じた指導を通して、健やかな成長を促していくことが求められている。</p> <p>今後の取組方針 県内の市町村に対して幼稚園と保育所、認定こども園と小学校との連携に関する調査を実施し、その実施状況や課題等を把握し、発達の連続性を踏まえた幼児教育を推進する。</p>	(単位：一)		基準値	目標値(H29)	H25 推進	H29 推進	H26 推進	H25 推進	H27	H28	H28	H29	H29	達成率(H25)		達成率(H29)
(単位：一)																			
基準値	目標値(H29)																		
H25 推進	H29 推進																		
H26 推進	H25 推進																		
H27	H28																		
H28	H29																		
H29	達成率(H25)																		
	達成率(H29)																		
51	幼児期の成長を支える取組の推進	<p>預かり保育の充実 保育記録等の活用による指導計画・保育内容の評価・改善</p> <p>担当課 学校政策課</p>	<p>事業目的 本事業は、幼稚園において教育課程に係る教育時間の終了後等に、地域の実態や保護者の要請に応じて、希望者を対象に行う預かり保育の充実を図ることを目的としている。保育記録等の活用を通して一人一人の幼児の状態を把握し、幼児自身が心身の安定を保ち、無理なく過ごせるように、個に応じた保育内容や環境への工夫・改善等の質的向上を図ることを推進する。</p> <p>取組状況(H25年度分) 各園における預かり保育について、幼稚園設置市町に対して実態調査を行い、現状把握するとともに、幼稚園設置市町への情報提供を行った。 学校計画訪問において、預かり保育の状況を把握し、幼稚園教育要領に基づいた指導・助言を行った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(単位：一)</td> </tr> <tr> <td>基準値</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>H25 推進</td> <td>H29 推進</td> </tr> <tr> <td>H26 推進</td> <td>H25 推進</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率(H29)</td> </tr> </table> <p>(成果) 保育記録等の活用によって、教職員間で一人一人の幼児の状態についての共通理解が図られ、個に応じた保育内容や環境が整えられるよう各園で努めている。</p> <p>評価 (課題) 人員確保や指導体制の整備及び施設の整備が必要である。</p> <p>今後の取組方針 県内の市町に対して預かり保育に関する調査を実施し、その実施状況や課題等を把握し、各市町に情報提供するとともに、保護者や地域の実態に応じた預かり保育の充実を働きかけていく。</p>	(単位：一)		基準値	目標値(H29)	H25 推進	H29 推進	H26 推進	H25 推進	H27	H28	H28	H29	H29	達成率(H25)		達成率(H29)
(単位：一)																			
基準値	目標値(H29)																		
H25 推進	H29 推進																		
H26 推進	H25 推進																		
H27	H28																		
H28	H29																		
H29	達成率(H25)																		
	達成率(H29)																		

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																							
52	社会教育における人権教育の充実	<p>生涯学習の視点に立った人権教育の充実 人権の視点に立ったサークル活動や交流の回数</p> <p>基準値(H24) 5 H25 7</p>	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>人権の視点に立った活動をしている大学生のサークル等が、交流・活動するなかで青年層の人権意識の高揚を図るとともに、「あったかハートつながり隊・ひろがり隊」を組織し、各学校（園）等に派遣、活動することで人権教育の推進に資する。</p> <p>大学生のサークル等による青年の相互交流や研修会、青年と子どもたちとの交流を行った。大学との緊密な連携を図る中、4大学6サークルが幅広い要請に応じた交流活動を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：回)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 人権の視点で活動しているサークルを、主に幼児・児童の人権交流活動に派遣し、人権教育のより一層の充実を図るための活動ができた。</p> <p>(課題) 要請数は多くあったが、日程が合わなかったり、大学の授業等と重なったりして、十分に活動できなかったサークルがあった。</p> <p>これまでの経験を最大限に活かして、大学サークルの相互交流と子どもたちとの交流の充実を図りたい。また、市町村教育委員会、各学校（園）に対し、それぞれの既存の行事等にこの事業の活用を促していきたい。</p>	(単位：回)					基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	5	7					達成	5	15
(単位：回)																										
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																		
5	7					達成	5	15																		
53	社会教育における人権教育の充実	<p>担当課 人権教育課</p> <p>施策・成果指標</p> <p>生涯学習の視点に立った人権教育の充実 生涯にわたる人権に関する学習機会の充実</p>	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>同和問題をはじめ様々な人権問題の解決と識字学級相互の交流及び各学校や社会教育団体等との交流活動を積極的に推進するとともに、社会啓発活動の促進を図ることを目的とする。</p> <p>5市11町16学級の識字学級が活動している。識字学級では、文字の習得のみにとどまらず、生活や文化を豊かにするための学習内容を盛り込むなどの生涯を見通した取組が行われている。また、識字学級間や学校等との交流活動、さらには、外国人や障がい者等の参加に伴って、同和問題をはじめ様々な人権問題についての学習が行われており、人権啓発展等での成果の発表・展示も行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：－)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>－</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 文字の習得に加えて、生活や文化を豊かにする取組や学校や識字学級間との交流が行われた。平成25年11月の「第65回全国人権・同和教育研究会」開催と同日の人権教育・啓発展において、県内の識字学級生の作品を多く展示し、多数の来賓者に取組を広く広げることができた。</p> <p>(課題) 児童生徒や教職員、高齢者や外国人の方など、識字学級の参加者は共学者として、相互に学び合うという姿勢を大切にしているため、今後も活動に対する理解をもった参加者を増やしていくことが課題である。</p> <p>今後とも生涯にわたる学習機会への充実を行うとともに、同和問題をはじめ様々な人権問題の解決に向け、同和問題の解決に向けての理解を深めるために、識字学級間の交流を積極的に実施し、活動のさらなる充実を図っていく。</p>	(単位：－)					基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	－	推進					推進	推進	推進
(単位：－)																										
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																		
－	推進					推進	推進	推進																		

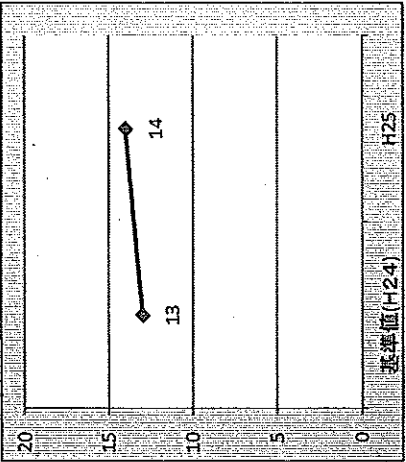
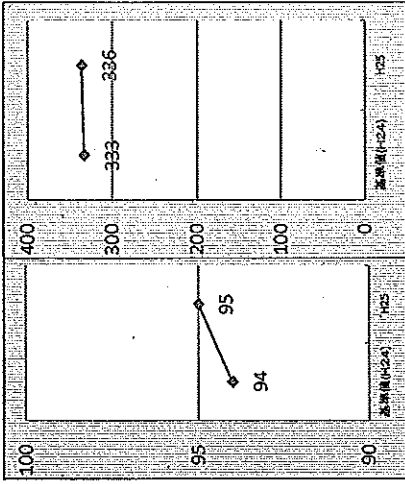
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																				
54	地域の教育に貢献する人材の育成	人権教育推進者の養成 社会教育における人権教育推進者の養成 基準値(H24) 48 H25 54	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針 徳島県人権教育推進方針に基づき、社会教育における人権教育の推進を図るため指導者の育成、確保等を総合的、体系的に図る指導者研修会を実施する。 社会教育における人権教育を推進するため、市町村から推薦のあった推進担当者54名を対象として2日間の継続研修を実施した。「徳島県人権教育推進方針」に基づく人権教育や人権の視点でのまちづくりの講演、市町村における取組についての情報交換を行うとともに、体験的参加型による研修を行い、人権教育推進者の養成と資質向上を図った。 <table border="1"> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>48</td> <td>54</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>48</td> <td>48</td> </tr> </table> (単位:人) (成果)6月に「社会教育における人権教育指導者研修会」を2回開催し、外部有識者の意見を頂き、各市町村の諸事業推進に役立つことができた。また、体験的参加型による研修を実施し、人権教育推進者の養成と資質向上を図った。 (課題)研修会参加者の経験年数にばらつきがあり、研修の内容に工夫が必要である。また、各市町村の諸事業にどのよう (今後の取組方針)研修会参加者の経験年数にばらつきがあり、研修の成果を広めることができるよう、参加者の出席についても引き続き働きかけるとともに、個別人権課題についての研修や体験的参加型研修を実施し、社会教育における人権教育推進者の資質の向上と計画的な推進者の確保につなげる。 事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針 地域教育力再生事業受託など、これまでの学習成果を活かし、学校・家庭・地域の連携を推進し、地域活動の活性化、地域防災の充実につなげることでできる人材を養成する。 教員OBをはじめ、防災士の資格を有する方や学校見守り隊、地域自立防災会等に所属する地域の学校応援団である方々を対象に、6日間にわたる「学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト養成講座」を実施し、平成25年度は51名が受講した。そのうち27名を「学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト」として認定した。 <table border="1"> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>41</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>20</td> <td></td> </tr> </table> (単位:人) (成果)地域の防災、減災をテーマとして実践的な講座を実施することにより、地域で教育支援活動を行っている受講者のスキルアップにつなげた。 (課題)県内防災生涯学習の拠点小学校への派遣において、認定された学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト41名のうちから、地域の特性に応じたスペシャリストを選定し、派遣する体制を整備する必要がある。 平成26年度から、学校・家庭・地域連携支援スペシャリストを県内の防災生涯学習の拠点小学校区に派遣し、地域住民や保護者と連携・協力して、地域の特性に応じた避難訓練や避難所生活体験等を実施し、学校・家庭・地域が連携した「地域の絆による防災・減災のまちづくり」モデルを構築するよう努める。	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	48	54					達成	48	48	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	14	41					達成	20	
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																															
48	54					達成	48	48																															
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																															
14	41					達成	20																																
55	地域の教育に貢献する人材の育成	担当課 生涯学習政策課 担当課 人権教育課 施策・成果指標 スキルを社会に還元する機会(学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト認定数(累計)) 基準値(H24) 14 H25 41	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針 地域教育力再生事業受託など、これまでの学習成果を活かし、学校・家庭・地域の連携を推進し、地域活動の活性化、地域防災の充実につなげることでできる人材を養成する。 教員OBをはじめ、防災士の資格を有する方や学校見守り隊、地域自立防災会等に所属する地域の学校応援団である方々を対象に、6日間にわたる「学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト養成講座」を実施し、平成25年度は51名が受講した。そのうち27名を「学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト」として認定した。 <table border="1"> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>41</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>20</td> <td></td> </tr> </table> (単位:人) (成果)地域の防災、減災をテーマとして実践的な講座を実施することにより、地域で教育支援活動を行っている受講者のスキルアップにつなげた。 (課題)県内防災生涯学習の拠点小学校への派遣において、認定された学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト41名のうちから、地域の特性に応じたスペシャリストを選定し、派遣する体制を整備する必要がある。 平成26年度から、学校・家庭・地域連携支援スペシャリストを県内の防災生涯学習の拠点小学校区に派遣し、地域住民や保護者と連携・協力して、地域の特性に応じた避難訓練や避難所生活体験等を実施し、学校・家庭・地域が連携した「地域の絆による防災・減災のまちづくり」モデルを構築するよう努める。	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	14	41					達成	20																			
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																															
14	41					達成	20																																

基本方針4 夢と希望に向かって学び続ける教育の実現

番号	推進項目	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																								
56	<p>多様なニーズに対応した学習機会の提供</p> <p>担当課 生涯学習政策課 施策・成果指標</p> <p>学習支援体制の充実 マナビイセンターの利用者数(累計)</p> <table border="1"> <caption>マナビイセンターの利用者数(累計)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>46,877</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>48,069</td> </tr> </tbody> </table>	年度	利用者数	H23	46,877	H25	48,069	<p>事業目的 マナビイセンターは、本県の生涯学習の拠点として、生涯学習推進の場を提供するとともに、各種研修や講座の開催により、県民のライフステージに応じた多様な学習機会の場を提供する。</p> <p>取組状況 (H25年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>標準値(H23)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目録値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>46,877</td> <td>48,069</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>48,000</td> <td>52,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：人)</p> <p>評価 (成果) 購入した図書や視聴覚教材の周知による貸出数の高水準の維持、県民のニーズに合わせた主催講座の新規開講等によるまなびいルームの利用者増加など、一定の成果を上げることができた。</p> <p>今後の取組方針 (課題) 限られた予算の中で、新規の図書や視聴覚教材を県民のニーズに合わせて有効に購入することが必要である。また、視聴覚教材のデジタル化も検討課題である。</p> <p>図書コーナーや視聴覚ライブラリー、交流コーナーなど、マナビイセンターの持つ機能を十分に生かした運営に努めるとともに、的確な場所への情報発信に加え、マナビイセンターの周知を徹底することで、来所者の増加に繋げていく。</p>	標準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目録値(H29)	46,877	48,069					達成	48,000	52,000
年度	利用者数																									
H23	46,877																									
H25	48,069																									
標準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目録値(H29)																		
46,877	48,069					達成	48,000	52,000																		
57	<p>学びの環境の充実</p> <p>担当課 文化の森振興本部</p> <p>文化の森総合公園文化施設の充実 文化の森総合公園各文化施設入館者総計(累計)</p> <table border="1"> <caption>文化の森総合公園各文化施設入館者総計(累計)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>1,702</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>1,839</td> </tr> </tbody> </table>	年度	入館者数	H23	1,702	H25	1,839	<p>事業目的 文化の森総合公園文化施設において、文化や芸術に直接触れ合う機会の充実を図り、多くの県民に足を運んでいただく新鮮で魅力ある事業を実施する。</p> <p>取組状況 (H25年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>標準値(H23)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目録値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,702</td> <td>1,839</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>99.9%</td> <td>1,840</td> <td>2,120</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：万人)</p> <p>評価 (成果) 魅力的な企画展やイベントを実施し、多くの来館者を集めることができた。</p> <p>(課題) 文化の森の所蔵する膨大な資料の活用が進むよう、創意工夫に努める。</p> <p>資料の継続的な収集に努めるとともに、季節イベント等で体験型の催しを増やす等、県民目線に立った企画の実施に取り組み。また、文化の森の利用が少ない若い層をターゲットにした企画やファミリー層に好評な参加型の企画を増やすとともに、情報発信についても高校生などの提案を募集するなどして積極的な広報に努める。</p>	標準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目録値(H29)	1,702	1,839					99.9%	1,840	2,120
年度	入館者数																									
H23	1,702																									
H25	1,839																									
標準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目録値(H29)																		
1,702	1,839					99.9%	1,840	2,120																		

番号	基準項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
58	学びの環境の充実	<p>ライフステージ等に応じた学習環境の充実 ライフステージ等に応じた講座や催し物の提供</p> <p>担当課 生涯学習政策課</p>	<p>市町村教育委員会が公民館等で実施する講座の状況を調査し、受講者のニーズの分析結果等を県教育関係機関及び市町村教育委員会にフィードバックすることにより、社会教育・生涯学習事業及び講座の充実を図る。</p> <p>市町村教育委員会を対象に「市町村社会教育実態調査」を行った。対象者、内容、取組事例などについて、公民館等で実施する社会教育・生涯学習事業・講座開設の状況を把握することができた。</p> <p>調査結果については、冊子及びPDFデータを市町村教育委員会及び県内教育関係機関に配布したほか、県ホームページで提供し、社会教育・生涯学習の推進に寄与した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>年代別のニーズの調査</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>年代別のニーズの調査</td> <td>ライフステージに応じた学習機会の充実</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：—)</p> <p>(成果) 地域の社会教育・生涯学習の状況とニーズを把握し、結果をフィードバックすることができた。</p> <p>(課題) 地域により学習のニーズは大きく異なっており、満足度の高い学習機会の提供をすることが求められている。</p> <p>引き続き、市町村に対する「市町村社会教育実態調査」を行う。調査結果は冊子の配布に加え、広くホームページで公開し、社会教育・生涯学習事業の活用に努める。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	—	年代別のニーズの調査						年代別のニーズの調査	ライフステージに応じた学習機会の充実
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
—	年代別のニーズの調査						年代別のニーズの調査	ライフステージに応じた学習機会の充実													
59	郷土とくしまから学ぶ機会の充実	<p>郷土とくしまに気づき学ぶ機会の充実 博物館、近代美術館、文書館、鳥居龍蔵記念博物館の学校への講師派遣回数</p> <p>担当課 文化の森振興本部</p>	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>事業目的 学芸員等専門職員が学校で出前授業を行うことにより、子どもたちの郷土に対する理解を深める。</p> <p>学校からの依頼に応じて、講師を派遣した。 ・博物館 38回 ・文書館 2回 ・近代美術館 65回 ・鳥居龍蔵記念博物館 2回</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>基準値(H23)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>53</td> <td>107</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>50回以上</td> <td>50回以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：回)</p> <p>(成果) 子どもたちが郷土の自然や歴史・文化に対して理解を深めることができた。</p> <p>(課題) 博物館、近代美術館、文書館、鳥居龍蔵記念博物館の保有する資料を活用し、学校等での郷土の学習を推進することが求められている。</p> <p>文化の森各館の所蔵する資料の貸出や学芸員等の講師派遣をより一層進める。</p>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	53	107					達成	50回以上	50回以上
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
53	107					達成	50回以上	50回以上													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																				
60	郷土とくしまから学ぶ機会の充実	伝統文化の継承と活用 保存団体による継承・活用事業の開催への支援 担当課 教育文化政策課	<p>保存団体の活動を支援するなどして、県民が伝統文化に触れ、体験する機会を充実させ、本県が誇る伝統文化の継承と活用を図る。</p> <p>教育文化政策課に事務局を置く徳島県地域伝統文化総合活性化委員会が、「徳島県伝統文化総合活性化計画」を策定するとともに、「阿波人形じょうり伝承教室」や「あわ民俗芸能フォーラム」を開催した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>(単位：人)</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 教育文化政策課に事務局を置く徳島県地域伝統文化総合活性化委員会が、「徳島県伝統文化総合活性化計画」を策定するとともに、「阿波人形じょうり伝承教室」や「あわ民俗芸能フォーラム」を開催した。</p> <p>(課題) 「阿波人形じょうり伝承教室」については、修了後に活動を続ける人の確保が課題である。</p> <p>国の「文化遺産を活かした地域活性化事業」「伝統文化親子教室事業」を活用し、伝統文化の継承・活用事業を継続する。特に「阿波人形じょうり伝承教室」「あわ民俗芸能フォーラム」の充実を図る。また、「徳島県伝統文化総合活性化計画」を踏まえ、伝統文化の活性化策を具体化していく。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																															
—	—	—	—	—	—	—	—	—																															
	—	—	—	—	—	—	—	—																															
	—	—	—	—	—	—	—	—																															
61	郷土とくしまから学ぶ機会の充実	伝統文化の継承と活用 ふるさと人材バンクの登録人数(累計) 担当課 教育文化政策課	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>県内の文化財や伝統文化に関する授業ができる方々に「ふるさと文化人材バンク」に登録してもらい、計画的に登載人数の増加に努めるとともに、学校においてふるさと徳島の文化に触れる機会を増やすことで、ふるさとを愛し、将来徳島の魅力について県内外で発信できる次世代の創造を目指す。</p> <p>1年を通じて「ふるさと文化人材バンク」への追加登録に努めるとともに、年度末に既登録者に対する登録継続の確認を行った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>(単位：人)</caption> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60</td> <td>72</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>達成</td> <td>65</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 「ふるさと文化人材バンク」の登録者数の拡大に努め、学校への人材派遣事業でのバンク活用を齎めた結果、多くの方が学校での出前授業で活躍することができた。</p> <p>(課題) 登録者数を増やしても、申請校や希望する文化分野が固定化される傾向があるため、幅広い文化分野があることや事業の効果について、周知に努める必要がある。</p> <p>「ふるさと文化人材バンク」が学校現場でより一層活用されるよう、県内人材等と学校のニーズを把握しながら、新規開拓に努める。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	60	72	—	—	—	—	達成	65	75																		
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																															
60	72	—	—	—	—	達成	65	75																															

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針
62	文化遺産を活用した学びの場づくり	文化財の保存と活用 史跡等指定・選定数(累計)(追加指定を含む)  基準値(H24) H25 13 14	事業目的 取組状況(H25年度分)	国指定文化財を保全し、活用する取組を推進するなかで、地域の活性化を図る。 1 国史跡「阿波湯路道」については、阿南市において「かも道」の追加指定に向けた準備を進め、平成27年度の指定を目指している。また、礼所寺院の指定についても総合調査を実施し、平成25年度までに4箇所について終了した。 2 藍住町においては、守護町勝瑞遺跡の「正貴寺跡」について、国史跡「勝瑞城跡」の追加指定に向けた意見具申を行った。 3 鳴門市においては、「鳴門・板野古墳群」について、指定に向けた意見具申の準備を進めた。 (単位：件) 基準値(H24) H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H25) 目標値(H25) 目標値(H29) 13 14 14 達成 14 17
		担当課 教育文化政策課	評価	(成果) 重要文化的景観部門において、上勝町「檜原の棚田」が「檜原の棚田及び農村景観」として追加選定された。 (課題) 順次指定・選定を進める上で、地権者との指定・選定範囲の確定を行うなど調整を進める必要がある。
		今後の取組方針		指定に向け準備が整った史跡等に関しては、文化庁及び関係市町村と調整を図りながら、順次指定・選定を進めていく。
63	文化遺産を活用した学びの場づくり	文化財の保存と活用 国・県指定文化財件数(累計)  基準値(H24) H25 国 県 94 95 333 336	事業目的 取組状況(H25年度分)	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針 国指定・県指定等の文化財を保全し、活用する取組を推進するなかで、地域の活性化を図る。 1 国指定等については、文化庁と連携し、市町村の取組を支援した。その結果、「大歩危」が新たに天然記念物(地質鉱物)に指定され、重要文化的景観部門において「檜原の棚田」の追加選定が実現した。 2 県指定については、市町村と連携し、新指定への取組を進めた。その結果、「端山のタラヨウ」を天然記念物(植物)に、「徳善家住宅」を有形文化財(建造物)に指定することができた。 (単位：件) 基準値(H24) H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H25) 目標値(H25) 目標値(H29) 国 94 95 達成 95 97 県 333 336 達成 334 338
		担当課 教育文化政策課	評価	(成果) 国指定等で目標に到達、県指定は目標を上回り、適切に文化財を保存することができた。 (課題) 国指定等については、調査が終了したものの、所有者等の同意が得られないこと等により、指定・選定に至っていないものがある。
		今後の取組方針		貴重な文化財を後世に伝え、活用していくため、文化庁・市町村等と連携し、新指定を進めていく。

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
64	文化遺産を活用した学びの場づくり	文化財の保存と活用 文化財防災対策の実施 担当課 教育文化政策課	<p>南海トラフの巨大地震等の災害から、貴重な文化財を守る。</p> <p>事業目的</p> <p>1 「文化財ハザードマップ」を作成し、閉居9市町に配布した。 2 文化財防災対策の課題を探るため、国・県指定等文化財の所有者・管理者を対象に、アンケート調査を実施した。</p> <table border="1"> <caption>(単位：ー)</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ー</td> <td>文化財ハザードマップの作成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>文化財ハザードマップの作成</td> <td>文化財防災対策の実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 「文化財ハザードマップ」を計画通りに作成・配布できた。</p> <p>評価</p> <p>(課題) アンケート調査結果の効果的な活用を図る必要がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>貴重な文化財を災害から守り後世に伝えるため、国の「文化遺産を活かした地域活性化事業」を活用し、市町村等の関係機関と連携して取り組む。平成26年度は、「文化財個別カルテ」作成に向けて取り組む。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	ー	文化財ハザードマップの作成						文化財ハザードマップの作成	文化財防災対策の実施
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
ー	文化財ハザードマップの作成						文化財ハザードマップの作成	文化財防災対策の実施													
65	文化遺産を活用した学びの場づくり	いにしえ夢街道 活用ゾーン設定数(累計) 担当課 教育文化政策課	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>県内で整備事業を実施または計画している国指定史跡や県・市町村史跡及び、周辺の様々な指定文化財や埋蔵文化財を含む未指定文化財を結び、これを夢のあるストーリーを持つ「群」として位置づけ、各地の博物館、資料館等とリンクさせることによって活用価値を高め、文化財を活かした地域振興に寄与する。</p> <p>1 徳島市・藍住町をゾーンとすする「室町ロマンから藩政へのみち」、東みよし町の拠点遺跡を活用した「丹田古墳の世界」で、周辺文化財等を活用したイベントを実施した。 2 阿南市・勝浦町をゾーンとする「阿波運路道」を活用した「全国歴史の道会議」を開催した。</p> <table border="1"> <caption>(単位：ゾーン)</caption> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 既設定ゾーンの活用を図るとともに、県南部(海陽町)で新ゾーンを設定した。</p> <p>評価</p> <p>(課題) 各ゾーンにおいて、更なる文化財等の保護と活用を図るため、ボランティアの育成及び資質向上を図る必要がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>県西部の山間部において新ゾーンの設定を目指すため、古道(湯路道等)がたなぐ山間の拠点集落の魅力や文化財について文化財講演会やウォーキングを実施し、地域住民への文化財保護と活用に向けた啓発事業を実施する。ゾーンの定着化を目指すため、地域住民によるボランティアの養成及び資質向上等を支援していく。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	6	7					達成	7	8
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
6	7					達成	7	8													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																										
66	文化遺産を活用した学びの場づくり	<p>いにしえ夢街道 いにしえ講演会参加人数(累計)</p> <table border="1"> <caption>いにしえ夢街道 講演会参加人数(累計)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>914</td> </tr> </tbody> </table>	年度	参加人数	基準値(H24)	300	H25	914	<p>事業目的 県内の史跡・文化財についての講演会を開催することによって、史跡・文化財の総合的な活用を図り、県民の文化財保護意識を醸成するとともに、県民による文化財の活用を進める。</p> <p>取組状況(H25年度分)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 県立埋蔵文化財総合センターにおいて、県内の史跡・埋蔵文化財(古墳・埴輪)に関する講演会を開催するとともに、平成24年度発掘調査に基づく成果報告会と出土遺物の展示を行った。 2 「いにしえ夢街道」活用ゾーン「阿波運街道」を主題として「全国歴史の道会議」を開催した。 <table border="1"> <caption>(単位:人)</caption> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>達成</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>300</td> <td>914</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>450</td> <td>900</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 (成果) 上記の取組により、「いにしえ夢街道」活用ゾーンの情報発信を促進し、文化財保護意識の向上や地域資源としての文化財の活用につなげることができた。</p> <p>(課題) 参加者のニーズを把握するとともに、「活用ゾーン」の今後の活性化につながる企画を検討する必要がある。</p> <p>参加者のニーズ把握に基づいた講演会内容の検討を行うとともに、「活用ゾーン」の活性化につながる企画を進める。</p> <p>今後の取組方針</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	達成	目標値(H29)	300	914						450	900	
年度	参加人数																												
基準値(H24)	300																												
H25	914																												
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	達成	目標値(H29)																				
300	914						450	900																					
67	学び続ける場と機会の充実	<p>担当課 教育文化政策課 施策・成果指標 各種団体の活性化・人材育成 生涯学習・社会教育関係職員対象の研修</p>	<p>事業目的 市町村教育委員会の生涯学習及び社会教育担当者や社会教育指導員を対象とした研修会や事業説明会を実施し、職員のスキルアップを図るとともに、県と市町村の連携を強化する。</p> <p>平成26年度に徳島県で開催される全国社会教育研究大会に向けて、市町村教育委員会の担当課長と市町村社会教育委員を対象に、「社会教育の活性化」をテーマとした講演会を実施した。</p> <p>また、市町村教育委員会担当者に対しては、次年度事業説明会を開催し、国や県の動向や施策について説明を行い、各種事業に対する共通理解を図った。</p> <table border="1"> <caption>(単位:回)</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>達成</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>取組状況(H25年度分)</p> <p>(成果) 平成26年度に徳島県で開催される全国社会教育研究大会への機運を高めることを目標に、研修会で講演会等を実施し、社会教育関係職員の意識向上を図ることができた。</p> <p>(課題) 市町村の社会教育関係職員だけでなく、社会教育関係者を含めた合同の研修会の開催を検討する必要がある。</p> <p>今後の取組方針 平成26年度の全国社会教育研究大会を契機として、研修会の回数や参加者の対象を検討し、更に充実した研修会となるように取り組んでいく。また、ワークショップや情報交換会等を実施し、研修の多様化を図る。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	達成	目標値(H29)	—	2						2	2							
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	達成	目標値(H29)																				
—	2						2	2																					

68	<p>生涯項目</p> <p>学び続ける場と機会の充実</p>	<p>生涯項目</p> <p>生涯スポーツの振興</p>	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p>	<p>事業目的</p> <p>取組状況</p> <p>評価</p> <p>今後の取組方針</p>
<p>実施・成果指標</p> <p>学習成果を社会に還元する機会の充実 生涯学習情報システムの団体・人材新規登録者数 (累計)</p>	<p>担当課 生涯学習政策課</p> <p>実施・成果指標</p> <p>生涯スポーツの充実 総合型地域スポーツクラブ会員数</p>	<p>担当課 県民スポーツ課</p>	<p>県と市町村、及び県内生涯学習関連施設等が連携し、収集した生涯学習情報をデータベースとして集積し、インターネットを利用して県民や市町村、生涯学習施設等に公開することにより、学習活動の支援と良質な生涯学習情報の提供を行う。</p> <p>人材・指導者、団体・サークルのほか、講座・イベント、施設、視覚教材、マナビイセンター図書情報の6種類の情報を、インターネットを利用して情報提供した。新規登録として、総合教育センター生涯学習課の主催講座受講修了者などから指導者、団体・サークルを追加した。</p> <p>登録した指導者情報は、総合大学の「まなびーあ人材情報」として活用したほか、徳島県内の大学との連絡協議会生涯学習ネットワーク部会の中で、大学教職員の登録を依頼した。</p>	<p>取組状況 (H25年度分)</p> <p>標準値(H23) 30</p> <p>H25 152</p> <p>H24 90</p> <p>H23 150</p> <p>(単位：件)</p>
69	<p>生涯項目</p> <p>生涯スポーツの振興</p>	<p>担当課 県民スポーツ課</p>	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p>	<p>事業目的</p> <p>取組状況</p> <p>評価</p> <p>今後の取組方針</p>
<p>実施・成果指標</p> <p>生涯スポーツの振興</p>	<p>担当課 生涯学習政策課</p> <p>実施・成果指標</p> <p>生涯スポーツの充実 総合型地域スポーツクラブ会員数</p>	<p>担当課 県民スポーツ課</p>	<p>県と市町村、及び県内生涯学習関連施設等が連携し、収集した生涯学習情報をデータベースとして集積し、インターネットを利用して県民や市町村、生涯学習施設等に公開することにより、学習活動の支援と良質な生涯学習情報の提供を行う。</p> <p>人材・指導者、団体・サークルのほか、講座・イベント、施設、視覚教材、マナビイセンター図書情報の6種類の情報を、インターネットを利用して情報提供した。新規登録として、総合教育センター生涯学習課の主催講座受講修了者などから指導者、団体・サークルを追加した。</p> <p>登録した指導者情報は、総合大学の「まなびーあ人材情報」として活用したほか、徳島県内の大学との連絡協議会生涯学習ネットワーク部会の中で、大学教職員の登録を依頼した。</p>	<p>取組状況 (H25年度分)</p> <p>標準値(H24) 7,800</p> <p>H25 8,640</p> <p>H24 8,600</p> <p>H23 12,000</p> <p>(単位：人)</p>
69	<p>生涯項目</p> <p>生涯スポーツの振興</p>	<p>担当課 県民スポーツ課</p>	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p>	<p>事業目的</p> <p>取組状況</p> <p>評価</p> <p>今後の取組方針</p>
<p>実施・成果指標</p> <p>生涯スポーツの振興</p>	<p>担当課 生涯学習政策課</p> <p>実施・成果指標</p> <p>生涯スポーツの充実 総合型地域スポーツクラブ会員数</p>	<p>担当課 県民スポーツ課</p>	<p>県と市町村、及び県内生涯学習関連施設等が連携し、収集した生涯学習情報をデータベースとして集積し、インターネットを利用して県民や市町村、生涯学習施設等に公開することにより、学習活動の支援と良質な生涯学習情報の提供を行う。</p> <p>人材・指導者、団体・サークルのほか、講座・イベント、施設、視覚教材、マナビイセンター図書情報の6種類の情報を、インターネットを利用して情報提供した。新規登録として、総合教育センター生涯学習課の主催講座受講修了者などから指導者、団体・サークルを追加した。</p> <p>登録した指導者情報は、総合大学の「まなびーあ人材情報」として活用したほか、徳島県内の大学との連絡協議会生涯学習ネットワーク部会の中で、大学教職員の登録を依頼した。</p>	<p>取組状況 (H25年度分)</p> <p>標準値(H24) 7,800</p> <p>H25 8,640</p> <p>H24 8,600</p> <p>H23 12,000</p> <p>(単位：人)</p>

基本方針5 安全・安心で魅力あふれる教育の実現

番号	推進項目	実施・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																	
70	安全・安心なとくしまの学校づくり	<p>自然災害から命を守る教育環境の整備 学校施設耐震化率</p> <table border="1"> <caption>学校施設耐震化率</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値 (H24.4.1)</td> <td>74.5</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>84.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>市町村立学校 担当課 施設整備課</p>	年度	数値	基準値 (H24.4.1)	74.5	H25	84.3	<p>事業目的 公立学校は、その多くが災害時の避難場所として役割を果たすことから、全ての学校施設の耐震化を計画的に推進する。</p> <p>取組状況 (H25年度分) 公立学校 74.5 市町村立学校 85.8</p> <table border="1"> <caption>耐震化率の進捗状況</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H27)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立学校</td> <td>74.5</td> <td>84.3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>99.2%</td> <td>85</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>市町村立学校</td> <td>85.8</td> <td>96.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>90</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 (成果) 耐震化事業を計画的に実施した結果、平成26年3月31日現在の耐震化率は、県立学校は約84%、市町村立学校は約97%となり、着実に耐震化を進めている。</p> <p>今後の取組方針 (課題) 高校再編の対象校については、再編の動向を考慮しながら、耐震化事業を検討していく必要がある。</p> <p>評価 平成27年度末の耐震化率100%に向けて、コスト削減を図りながら、耐震化と併せて施設の老朽化対策にも取り組む。</p>	項目	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H27)	公立学校	74.5	84.3				99.2%	85	100	市町村立学校	85.8	96.6				達成	90	100
年度	数値																																			
基準値 (H24.4.1)	74.5																																			
H25	84.3																																			
項目	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H27)																												
公立学校	74.5	84.3				99.2%	85	100																												
市町村立学校	85.8	96.6				達成	90	100																												
71	安全・安心なとくしまの学校づくり	<p>自然災害から命を守る教育環境の整備 県立学校避難所施設強化・充実事業の実施校</p> <table border="1"> <caption>避難所施設強化・充実事業の実進状況</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値 (H24)</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>51</td> </tr> </tbody> </table> <p>市町村立学校 担当課 施設整備課</p>	年度	数値	基準値 (H24)	25	H25	51	<p>事業目的 東日本大震災の教訓により、中核的な避難所となる県立学校において、避難所としての安全性とライフラインを確保し、避難生活をサポートする資機材の整備を行う。</p> <p>取組状況 (H25年度分) 基準値(H24) 25 H25 51 H26 H27 H28 H29 達成率(H25) 達成 目標値(H25) 50</p> <table border="1"> <caption>資機材整備状況</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>51</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 (成果) 県立学校45校の内、半数となる23校において、整備が完了若しくは整備着手済みとなった。</p> <p>今後の取組方針 (課題) 資材や労務費が上昇しており、予算内にいかに納めるかが課題となっている。</p> <p>評価 (成果) 県立学校避難所施設強化・充実事業において、体育館の天井材落下防止や窓ガラスの飛散防止対策、太陽光発電装置、屋外LED太陽光照明灯等を、平成30年度までに順次、各県立学校に設置していく。</p>	項目	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	基準値	25					達成	50	H25	51									
年度	数値																																			
基準値 (H24)	25																																			
H25	51																																			
項目	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)																													
基準値	25					達成	50																													
H25	51																																			

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																								
72	安全・安心なとくしまの学校づくり	<p>自然災害等から命を守る教育の推進 県立学校の「防災クラブ」の設置数(累計)</p> <table border="1"> <caption>防災クラブの設置数(累計)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>設置数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>	年度	設置数	H24	10	H25	18	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>県立高等学校・中学校に「防災クラブ」を置き、防災ボランティア活動や地域や活動と連携した防災活動を推進するとともに、避難所支援ができる知識や技術を習得することで、地域防災の即戦力となる人材を育成する。</p> <p>平成23年度から5校ずつ「防災クラブ」設置校を増やし、各設置校では、地域を巻き込んだ防災活動や高齢者宅での家具転倒防止器具の設置等、将来の防災の担い手を育成すべく取組が行われている。新たに5校を加えた15校に県立中学校3校を加えた18校で「防災クラブ」を設置し、地域や学校の状況に応じた取組を実施している。</p> <table border="1"> <caption>(単位：校)</caption> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>18</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>15</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 平成25年度は、沿岸地域の2校を加えるとともに、県立中学校を併設する3校(高等学校3・中学校3)の計18校に「防災クラブ」を設置し、将来の防災の担い手の育成をめざした取組が行われている。</p> <p>(課題) 平成23年度から、中心として活動する高等学校の「防災クラブ」の育成が必要である。</p> <p>地域と連携した避難訓練を推進するとともに、各学校の特色を生かした学校防災ボランティア活動を展開し、防災活動に支援側として参画する。さらに、「防災クラブ」間で交流し、活動の活性化を図っていく。</p> <p>今後の設置数については、県立高校を5校追加して計23校とし、全県下に広げていくことを目標とする。また、市町村立中学校においては、6校を追加して計13校とし、合計36校で、地域に根ざした防災活動を展開していく。</p> <p>被災後の学校再開に向けた教材等の復旧や青空教室等の応急教育の支援については、元教員の支援を得て、円滑な再開を図るために人材登録を進めていく。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	10	18					達成	15	
年度	設置数																										
H24	10																										
H25	18																										
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																			
10	18					達成	15																				
73	安全・安心なとくしまの学校づくり	<p>担当課 体育学校安全課</p> <p>施策・成果指標</p> <p>登下校・部活動・体育授業時の安全確保 スクールガード(学校安全ボランティア)の登録数</p> <table border="1"> <caption>スクールガードの登録数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>9,271</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>10,446</td> </tr> </tbody> </table>	年度	登録数	H24	9,271	H25	10,446	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>子どもたちが安全・安心して教育が受けられるよう、学校や通学路の子どもの安全確保を図るため、家庭や地域の関係機関・団体と連携を図りながら、地域社会全体で子どもの安全を見守る体制を整備する。</p> <p>市町村にスクールガードリーダーの配置を協力依頼し、スクールガード(学校安全ボランティア)の養成に努め、県内の全小学校校区において10,446名のスクールガード(学校安全ボランティア)が、登下校時の見守り活動を実施した。</p> <table border="1"> <caption>(単位：人)</caption> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9,271</td> <td>10,446</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>95.0%</td> <td>11,000</td> <td>12,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) スクールガードリーダー連携協議会を実施し、スクールガード(学校安全ボランティア)の安全確保及びスクールガード養成講習会等の情報交換を行い、登録数を増やすことができた。</p> <p>(課題) 小学校の統合及び休校により、スクールガード(学校安全ボランティア)の増加が難しくなる。現状数を維持していくために、市町村に対してスクールガード養成講習会等の依頼をしていかなければならない。</p> <p>スクールガードリーダー連携協議会を実施し、登下校時の事故防止等について情報交換を行い、スクールガード(学校安全ボランティア)の安全を図りながら、幼児・児童生徒の安全確保について整備をしていく。全ての小学校区において見守り活動を行い、中学校区においても安全マップの活用や不審者情報等の連絡体制の整備を進める。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	9,271	10,446					95.0%	11,000	12,000
年度	登録数																										
H24	9,271																										
H25	10,446																										
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																			
9,271	10,446					95.0%	11,000	12,000																			

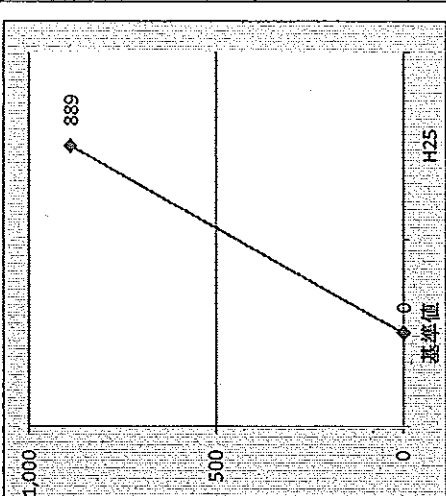
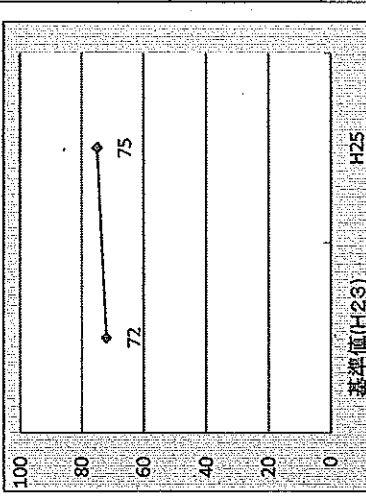
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
74	安全・安心なとくしまの学校づくり	登下校・部活動・体育授業時の安全確保 学校管理下において、熱中症の症状を呈して医療機関を受診した児童生徒数 担当課 体育学校安全課 施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針 熱中症事故の予防と事故発生時の適切な対応について研修会を実施し、事故防止に対する教師の指導力向上に努め、登下校・部活動・体育授業時の児童生徒の安全確保を図る。 県内を西中甯3ブロックに分け、小学校・中学校・高等学校・高等専門学校・特別支援学校から1名ずつの教職員が参加し、大学教授を講師に迎え熱中症予防の研修会を実施した。また、学校安全教室として、県医師会と連携し熱中症予防・救急救命講習(AED研修会)を実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>48</td> <td>38</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>40人以下</td> <td>40人以下</td> </tr> </tbody> </table> (単位:人) (成果) 学校教育活動中に、「熱中症」の症状を呈して、医療機関を受診した児童・生徒数は、平成24年度48名であったが、平成25年度は38名と減少した。 (課題) 夏の総合体育大会前、記録的な猛暑日が続き、中学校・高等学校の運動部活動の生徒が、屋外・屋内を問わず、高温に長時間さらされる状況が見られた。部活動の練習方法の工夫改善が必要である。 事故の再発を防止するため、特に、猛暑日における運動部活動では、活動の内容を事前に検討するとともに、計画的な水分の摂取・帽子の活用や着衣の工夫・濡れタオルや保冷剤等による頭部の冷却等、十分な予防措置を取り、万一発生した際には、応急手当や必要な措置が時宜が得て実施されるよう、今後も継続して、研修会を実施していく。	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	48	38					達成	40人以下	40人以下
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
48	38					達成	40人以下	40人以下													
75	安全・安心なとくしまの学校づくり	教育相談体制の充実 スクールカウンセラーの職務に対する学校の評価(満足度) 担当課 人権教育課 施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針 児童生徒のいじめや不登校等の問題行動に対応するため、スクールカウンセラーを、公立小中学校及び県立学校に配置し、相談活動の充実を図り生徒指導上の諸問題を解決することを目的としている。 年度末に提出を求めているスクールカウンセラー活用事業実施報告書において、校長によるスクールカウンセラーに対する評価を3段階で実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>90</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>80</td> <td>95以上</td> </tr> </tbody> </table> (単位:%) (成果) スクールカウンセラーの資質向上に関しては、臨床心理士会が毎月1回行っている研修会を県教育委員会も後押しをすることともに、スクールカウンセラーの自己評価制度を取り入れ、資質の向上につなげている。 (課題) 優秀なスクールカウンセラーの県外流出の懸念がある。 今後とも、スクールカウンセラーの資質向上のため、徳島県臨床心理士会の協力のもとと研修会等を行い、資質の向上を図る。	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	—	90					達成	80	95以上
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
—	90					達成	80	95以上													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針
76	安全・安心なとくしまの学校づくり	教育相談体制の充実 スクールソーシャルワーカー配置数 <p>基標準値(H24) H25 H26 H27 H28 H29 H25 達成率(H25) 目標値(H25) 目標値(H29)</p> <p>(単位:人)</p>	<p>事業目的</p> <p>児童生徒の問題行動のうち、学校だけでは解決が困難な事例に対応するため、より高度で専門的な知識を有する社会福祉士をスクールソーシャルワーカーとして配置し、学校の要請に応じて福祉的視点から児童生徒の実態把握や適切な指導方法及び対応方法等について指導助言を行うことにより、問題の解決を図ることを目的とする。</p> <p>取組状況(H25年度分)</p> <p>スクールソーシャルワーカーを徳島県立総合教育センターに9名配置し、全市町村立小中学校及び県立学校の要請に応じで派遣した。</p> <p>評価</p> <p>(成果) 公立小学校のべ3校、中学校のべ16校、高等学校1校から要請を受け、問題行動を繰り返す児童生徒への対応について、環境の改善等、福祉的な視点から指導助言を行い、学校及び保護者の問題解決能力の向上を図った。</p> <p>(課題) スクールソーシャルワーカーの活動内容や期待できる効果について、より広く周知を図る必要がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>機会あるごとに、スクールソーシャルワーカーの活動内容等について周知し、一層の活用促進を図る。</p>
77	社会の変化に対応した魅力ある学校づくり	新たな高校教育の創造 再編高校の創設 担当課 教育戦略課	<p>事業目的</p> <p>県内の生徒数が減少していく中、各高等学校が将来にわたり多様な教育や部活動等を実施し、活力と魅力ある教育活動を展開していくため、高校再編を推進する。</p> <p>取組状況(H25年度分)</p> <p>つるぎ高校開校に向けた準備作業をより迅速・円滑に進めるため、開校推進委員会を設置して、委員会を5回開催するとともに、実務を担う10作業部会における作業の進捗状況の確認や全体の調整などを行った。また、池田高校、辻高校、三好高校と教育委員会事務局による再編統合準備委員会を設置し、三好市・東みよし町地域の再編統合に向けた協議を開始した。</p> <p>評価</p> <p>(成果) 「校歌」「校章」「学則」など、つるぎ高校開校に必要な重要事項を決定した。三好市・東みよし町地域の再編統合に向けた体制を整えることができた。</p> <p>(課題) 開校後、つるぎ高校の円滑な運営を支援すること。池田高校、辻高校、三好高校3校による再編統合のため、調整すべき課題を十分に検討する必要がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>引き続き、つるぎ高等学校を支援していくとともに、三好市・東みよし町地域の再編統合準備を進めていく。</p>

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																								
78	社会の変化に対応した魅力ある学校づくり	新たな高校教育の創造 高校教育の在り方に関する報告書の作成、個別計画の策定・実施	<p>事業目的 少子化の進行に伴う学校の小規模化への対応など、中長期的な教育課題に対する調査・研究を行い、社会の変化に対応した魅力ある高校教育の創造に取り組む。</p> <p>取組状況(H25年度分) 徳島県高校教育戦略会議及び同調査研究部会を設置し、本県における新しいタイプの学校の現状や全国での特徴的な取組事例などについて報告をまとめた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">報告書作成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">報告書作成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">計画実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：件)</p> <p>評価 (成果) 本県における新しいタイプの学校の現状や全国での特徴的な取組事例等についてまとめ、これからの協議に際しての論点を整理することができた。</p> <p>今後の取組方針 (課題) 協議するべき内容が多岐にわたるとともに、相互に関連している場合が多いため、国の動向や社会的な情勢等を踏まえ、協議を進めていく必要がある。</p> <p>引き続き様々な教育課題に関する調査・研究を行い、論点の整理を行うとともに、個別に対応可能な課題について計画の策定を進める。</p>	基準値		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	報告書作成										報告書作成										計画実施									
基準値		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																																		
報告書作成																																											
報告書作成																																											
計画実施																																											
79	社会の変化に対応した魅力ある学校づくり	特色ある学校づくり 徳島視覚支援学校・徳島聴覚支援学校両校教員の連携・協働による、地域の学校等への相談支援回数	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>事業目的 徳島視覚支援学校と徳島聴覚支援学校が、校舎等を共有する新しい教育を展開するにあたり、両校の専門性を活かした視覚・聴覚障がい教育の充実や特別支援教育推進のための人材育成を図るとともに、両校が連携した特別支援学校のセンター的機能を発揮し、徳島ならではの視覚・聴覚障がい教育の推進を図る。</p> <p>取組状況(H25年度分) 両学校による地域の学校等への相談支援回数 158件 両学校による地域の学校等への相談支援回数 133件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">連携準備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>400</td> </tr> <tr> <td colspan="2">連携準備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：件)</p> <p>評価 (成果) 両校がそれぞれ、視覚障がい・聴覚障がいに関する専門性を発揮し、地域の小中学校等へ巡回による相談等を実施し、視覚・聴覚障がい教育の推進を図った。</p> <p>(課題) 平成26年4月から、両校が連携した相談支援体制の構築や、両障がいをお互いあわせ有する重度障がいの幼児児童生徒への相談支援等を積極的に進める必要がある。</p> <p>今後の取組方針 両校が連携した特別支援学校のセンター的機能の発揮に向けて、両校の担当が定期的に協議を実施しており、平成26年度から両校が連携・協働した地域の学校への支援を実施するとともに、両障がいをお互いあわせ有する重度障がいの幼児児童生徒への相談支援などを積極的に進める。</p>	基準値(H24)		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	連携準備									400	連携準備																			
基準値(H24)		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																																		
連携準備									400																																		
連携準備																																											

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
80	社会の変化に対応した魅力ある学校づくり	<p>実施・成果指標</p> <p>きめ細かな指導体制の整備 35人を上限とする少人数学級編制</p>	<p>少人数学級編制を導入することにより、一人一人に応じたきめ細やかな指導を一層充実させ、児童・生徒の生き生きとした学校生活の実現を支援する。</p> <p>全ての小学校1・2・3・4・5年生及び中学校1年生を対象として35人学級を実施した。 (国の基準を上回って配置した人数) ○小学校2年生17校17人 ○小学校3年生21校21人 ○小学校4年生23校23人 ○小学校5年生17校17人 ○小学校1年生21校31人 ○計99校109人</p> <p>(単位：一)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校1～4年・5年・中学校1年に導入</td> <td>小学校1～5年・中学校1年に導入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>導入拡大</td> <td>小学校全学年・中学校1年に導入</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 平成25年度から、少人数学級編制を小学校5年生にも拡大したことにより、学習内容や学習時間が増える学年にも、よりきめ細やかな指導を充実させることができた。</p> <p>(課題) 平成26年度には、少人数学級編制を小学校6年生にも拡大する必要がある。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	小学校1～4年・5年・中学校1年に導入	小学校1～5年・中学校1年に導入						導入拡大	小学校全学年・中学校1年に導入
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
小学校1～4年・5年・中学校1年に導入	小学校1～5年・中学校1年に導入						導入拡大	小学校全学年・中学校1年に導入													
81	私立学校の振興	<p>実施・成果指標</p> <p>私立学校の健全運営と魅力ある学校づくり 私立学校教育の質の向上、教育の多様性の確保</p>	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>公教育の一翼を担う私立学校は、それぞれ建学の精神に基づく独自の教育を通じて県民に多様な教育サービスを提供しており、県民が安心して私立学校を選択できるよう、私立学校の経営の安定及び保護者負担の軽減を図る。また、私立学校の特色づくり、魅力アップ、魅力アップ、子育て支援とともに地域貢献を促進し、情報発信力の強化を支援する。</p> <p>私立学校の教育条件の維持・向上、修学上の経済的負担の軽減等を目的として、学校の設置者である学校法人に対する私立学校運営費補助を行った。また、経済的理由により就学が困難な者の負担を軽減し、教育機会の均等を確保するため、高等学校等就学支援金を支給するとともに私立高等学校等授業料軽減事業補助を行った。平成25年度からは、専修学校高等課程を私立高等学校等授業料軽減事業補助の対象とした。</p> <p>(成果) 高等学校等授業料軽減事業補助金の制度を専修学校高等課程まで拡充したことにより生徒の就学機会の確保と保護者の経済的負担の軽減が図られた。また、補助事業の実施により、学校法人の運営及び学校設備の充実、教員の資質向上等教育条件の維持向上とともに、「願く私学推進事業補助金」を通じて、私立高等学校等の個性的で特色ある活動や、私立幼稚園が実施している預かり保育等に対する補助を行うことにより、特色ある教育活動の充実が図られた。</p> <p>(課題) 今後も公私間格差是正等を図る取組が必要である。</p>																		
			<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>平成26年度には、対象学年を小学校6年生まで拡大し、「小学校1年生から中学校1年生」までの連続した「全ての学年」において少人数学級編制を実現することができた。</p> <p>今後は、少人数学級編制の成果と課題を検証するとともに、テーマチームやプログラミングや習熟度別指導など少人数指導の効果的な活用を図りながら、きめ細やかな指導の充実を図る。</p>																		
			<p>取組状況 (H25年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一</td> <td>支援</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>支援</td> <td>支援</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：一)</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	一	支援						支援	支援
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
一	支援						支援	支援													
			<p>評価</p> <p>引き続き、私立学校の振興と教育条件の向上、修学上の経済的負担の軽減、経営の健全性の向上を支援する。私立学校ならではの特色づくり、魅力アップ、延長保育などの子育て支援の充実について、積極的に努力する学校を支援するとともに、本県私立学校教育の認知度を高めるため、情報発信力の強化を支援する。</p>																		
			<p>今後の取組方針</p> <p>担当課 総務課</p>																		

82	推進項目 私立学校の振興	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>事業目的 県教育の全体の向上に向けた施策や取組が最大の効果を発揮するために、公私立高等学校間の機能分組や連携を強化する。</p> <p>取組状況(H25年度分)</p> <p>公私立高等学校連絡協議会等を開催し、公私立学校間での情報共有、意見交換を行う等、連携強化に努めた。また、公私立高等学校の入試説明会において、私立高等学校の入試説明や取組を紹介した。</p> <p>・第1回幹事会 5月23日 ・第2回幹事会 9月9日</p> <p>(単位：—)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果)10月に「公私立高等学校連絡協議会」を開催し、公立・私立の関係者が情報共有、意見交換を行い、公立・私立の関係者がそれぞれの現況や課題について協議することにより、意思疎通、相互理解が図られた。</p> <p>(課題)公私立高等学校連絡協議会の開催前の、幹事会のあり方について調整が必要である。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	—	推進						推進	推進	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、今後の取組方針</p> <p>事業目的 本県教育を担う教職員には、教職に対する強い使命感や高い倫理感のもとより、探求力や教職生活全体を通じて自主的に学び続ける力、専門職としての高度な知識・技能、さらには、豊かな人間性や社会性等の総合的な人間力が求められており、できる限り多くの大学生に採用審査を受審してもらえよう説明会を開催する。</p> <p>取組状況(H25年度分)</p> <p>中四国、関西の大学を中心として、新規の大学2校を含め16校で学校説明会を実施した。</p> <p>(成果)16校で全受審者の60%をカバーし、合格者も60%を超えている。</p> <p>(課題)説明会の参加のほとんどが受審者(4回生)であり、1～3回生の参加者が少なく、改善の余地がある。</p> <p>今後の取組方針 引き続き、教員養成系の大学を中心に、県内大学はもちろん、近隣の大学を訪問するなど、積極的な広報活動に努め、優秀な人材の確保に努める。 また、教員を目指すとする学生に早い段階からアプローチできるように大学等へも働きかけていきたい。</p>
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
—	推進						推進	推進													
83	推進項目 希望に導く教職員の育成	<p>実施・成果指標</p> <p>優秀な教員の確保 県内外大学における教員採用に係る説明会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	基準値(H24)	H25	14	16	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、今後の取組方針</p> <p>事業目的 本県教育を担う教職員には、教職に対する強い使命感や高い倫理感のもとより、探求力や教職生活全体を通じて自主的に学び続ける力、専門職としての高度な知識・技能、さらには、豊かな人間性や社会性等の総合的な人間力が求められており、できる限り多くの大学生に採用審査を受審してもらえよう説明会を開催する。</p> <p>取組状況(H25年度分)</p> <p>中四国、関西の大学を中心として、新規の大学2校を含め16校で学校説明会を実施した。</p> <p>(成果)16校で全受審者の60%をカバーし、合格者も60%を超えている。</p> <p>(課題)説明会の参加のほとんどが受審者(4回生)であり、1～3回生の参加者が少なく、改善の余地がある。</p> <p>今後の取組方針 引き続き、教員養成系の大学を中心に、県内大学はもちろん、近隣の大学を訪問するなど、積極的な広報活動に努め、優秀な人材の確保に努める。 また、教員を目指すとする学生に早い段階からアプローチできるように大学等へも働きかけていきたい。</p>														
基準値(H24)	H25																				
14	16																				

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
84	希望に導く教職員の育成	施策・成果指標 教員の資質能力向上 キャリア教育、グローバル化に対応した教育及びICTを活用した教育の推進を図るための研修への参加者数(累計) 	事業目的 教員のライフステージに合わせ、経験年数や役職等に応じて実施する研修のほか、学校組織マネジメント等に関する研修や今日的な教育課題や教科指導等に対する知識技能の習得を目的とする研修等を実施し、教員の資質能力の向上を図る。 取組状況(H25年度(分)) 成果指標に係る研修講座や研修内容を研修計画に位置づけ実施した。 ・キャリア教育 キャリア教育講座(希望研修)…11名 初任者研修…174名 教職5年次研修…146名 ・グローバル化 小中高英語教育実践講座…149名 ・ICT活用 初任者研修…174名 新規採用学校卒業職員研修…4名 10年経歴者研修…102名 幼稚園教諭10年経歴者研修…2名 ICT活用指導力向上研修(希望研修)…127名 (単位:人) <table border="1" data-bbox="383 291 478 1321"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>889</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>800</td> <td>4,000</td> </tr> </tbody> </table> (成果) ライフステージに応じた研修を体系的・計画的に実施することにより、教員の資質能力の向上を図ることができた。また、アンケートをもとに、次年度に向けてより効果的な研修計画を立てることができた。 評価 「(課題)児童生徒と向き合う時間を確保するために、より合理的で効果的な研修を工夫する必要がある。また、教員が「自ら学び続ける」ことができるよう内容や方法を考慮した研修も検討していく必要がある。 今後の取組方針 特に、成果指標に係る研修講座については、実際の課題と捉え、教員の授業方向上に資する研修内容や演習・体験活動等を取り入れた研修方法の改善に取り組む。 さらに、実施後の効果検証等をもとに研修内容・方法の改善を計画的に行いながら、研修講座の充実に向け、教員の資質能力の向上を図る。	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	—	889						800	4,000
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
—	889						800	4,000													
85	希望に導く教職員の育成	施策・成果指標 教員の資質能力向上 教諭の「特別支援学校が対象とする障がい種」に対応した免許状1の保有率 	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針 事業目的 特別支援学校・高等学校の教諭、小学校・中学校の教諭で、特別支援学校教諭免許状(一種、二種)の取得を希望する者に対して、文部科学省が認定する教育職員免許法認定講習会を開催し、特別支援学校教諭一種又は二種免許状を取得させることにより、教職員の特別支援教育に関する専門性の向上を図ることを目的とする。 徳島県教育委員会教育職員免許法認定講習会を4講座開講した。 取組状況(H25年度(分)) (単位:%) <table border="1" data-bbox="989 291 1069 1321"> <thead> <tr> <th>基準値(H23)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>72</td> <td>75</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>93.8%</td> <td>80</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table> (成果) 徳島県教育委員会教育職員免許法認定講習会を209名が受講した。 評価 (課題) 障がい種別によって、免許状の保有率が伸びにくい。 今後の取組方針 平成26年度より、講座数を6講座に増やし短期間で単位取得を可能にする等の環境整備を行うとともに、免許状非保有者の単位取得状況を明らかにし、速やかに受講するように指導することにより、特別支援学校教諭免許状保有率の向上を図り、教員の専門性向上に取り組む。	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	72	75					93.8%	80	80
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
72	75					93.8%	80	80													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																								
86	希望に導く教職員の育成	教員の資質能力向上 各県立学校・市町村教育委員会におけるコンプライアンス研修(要請)の実施回数(累計) <table border="1"> <caption>コンプライアンス研修の実施回数(累計)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実施回数	H24	9	H25	23	<p>事業目的</p> <p>これまでの取組を拡充させ、全教職員の「コンプライアンス意識」の更なる高揚を目指し、コンプライアンス推進室から講師を派遣して、各所属におけるコンプライアンス研修の充実を図る。</p> <p>1 推進員会議、各校長会、管区別教育長会等の各種会議において、講師派遣の広報に努めた。 2 県立学校(15校)、市町村教委主催の研修会(3)、小中学校(5校)へ講師を派遣し研修を実施した。</p> <table border="1"> <caption>(単位:回)</caption> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>23</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>20</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 直接各校の教職員と接してその声を聞くことができ、各校の課題や実状に応じた研修内容を作成したり、ポイントを絞った研修が実施できるなど、大きな意義があった。研修実施後のアンケートでも、97%から肯定的評価を得ている。</p> <p>(課題) 継続的な研修実施が重要である。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>講師派遣の希望票等を各推進員会議で配布するとともに、ホームページにも掲載するなど、より派遣依頼がしやすくなるよう環境を整備していく。また、実施後の新たな拡充に努める。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	9	23					達成	20	100
年度	実施回数																										
H24	9																										
H25	23																										
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																			
9	23					達成	20	100																			
87	希望に導く教職員の育成	担当課 コンプライアンス推進室 施策・成果指標 メンタルヘルス・健康維持 精神科医等による相談事業、メンタルヘルスマネジメントセミナー、職場復帰支援事業等の実施	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>事業目的</p> <p>一次予防として、職場のメンタルヘルス対策に熟知した管理職を養成することで、職場単位でのメンタルヘルス対策の推進やメンタルヘルス不調者の早期発見・早期対応に努め、出前講座で教職員のメンタルヘルスに対する理解を促進する。また、二次予防として、専門相談員による相談事業により、教職員個人の悩み・不安等の軽減を図る。さらに、三次予防として、教職員職場復帰支援により、メンタルヘルス不調による病休から復職した教員やその管理職への助言指導及び経過観察をすることで再発防止に努める。</p> <p>1 「メンタルヘルスマネジメント管理セミナー」は新任教頭等を対象として2回実施し、185名が受講した。「出前講座」は希望校11校320名が受講した。 2 「教職員相談事業」は12名の専門相談員が相談を実施した。 3 福利厚生課保健師による「教職員健康相談事業」を新たに実施した。 4 「教職員職場復帰支援事業」は3名に対して実施した。</p> <table border="1"> <caption>(単位:一)</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>予防的取組・復帰支援促進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>予防的取組・復帰支援促進</td> <td>予防的取組・復帰支援促進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) メンタルヘルス対策について一次予防から三次予防まで体系的に取り組みができた。</p> <p>(課題) メンタルヘルス対策事業の成果の蓄積を総合評価し、さらに教職員の現状に即した対策へと充実させる。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>教職員のメンタルヘルスに関する情報を整理し、共済組合等関係機関との連携のもと、実態に即したメンタルヘルス対策の充実を図る。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	—	予防的取組・復帰支援促進					—	予防的取組・復帰支援促進	予防的取組・復帰支援促進						
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																			
—	予防的取組・復帰支援促進					—	予防的取組・復帰支援促進	予防的取組・復帰支援促進																			

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																														
38	希望に導く教職員の育成	メンタルヘルス・健康維持 特定健康診断・特定保健指導への積極的な対応による教職員の健康の保持増進	<p>糖尿病等生活習慣病対策及び医療費を抑制するとともに、教職員が安心して教育活動に専念し能力を十分発揮できるための健康支援とする。</p> <p>1 「定期健康診断」は全教職員が受診できるように各学校衛生管理者と連携実施し、特定健康診断の実施主体である共済組合へ検査データを提供した。</p> <p>2 「教職員健康管理支援事業」では教職員に対して定期健康診断等の結果に応じた助言指導を実施し、特定保健指導に近づけた。</p> <p>3 定期健康診断等の結果の統計を各衛生管理者と共有し、所属での啓発につなげた。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：一)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活習慣の改善促進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>生活習慣の改善促進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>生活習慣の改善促進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 定期健康診断等の受診率は高率であり、各教職員が自分の体の健康状態を把握するきっかけとなっている。</p> <p>(課題) 教職員個人の生活習慣改善につなげるためには、個別支援が不可欠であり、各学校に設置する健康管理医の有効な活用や共済組合が実施する特定保健指導の積極的な受診勧奨が重要である。</p> <p>さらに、各学校衛生管理者及び共済組合等関係機関との連携を強化し、健診受診率向上及び生活習慣改善への啓発をすすめる。</p> <p>担当課 福利厚生課</p>	(単位：一)						基準値	H25	H26	H27	H28	H29	生活習慣の改善促進						生活習慣の改善促進						生活習慣の改善促進					
(単位：一)																																	
基準値	H25	H26	H27	H28	H29																												
生活習慣の改善促進																																	
生活習慣の改善促進																																	
生活習慣の改善促進																																	
39	教育機関の運営体制の充実	校務の情報化 県立学校への総務事務・学校支援システムの導入	<p>校務の情報化により教職員の校務負担を軽減し、教職員が生徒と向き合う時間等を増加させ、魅力ある学校づくりを推進する。</p> <p>県立学校教員へ総務事務システム(特殊業務手当)の導入を行った。 また、生徒の出入・学籍管理・成績処理等の基本的な校務を共通システムとして行う「学校支援システム」の試行を実施した。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：一)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推進(総務事務システムの導入)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>推進(学校支援システムの導入)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 県立学校教員へ総務事務システム(特殊業務手当)の導入を行うことができた。また、学校支援システムについては平成25年度に操作研修を行い、全県立高校において試行運用を行うことができた。</p> <p>(課題) 学校支援システムの試行運用を行ったが、平成26年度からの円滑な本格運用を開始するため支援環境の充実とシステムの機能改善が必要である。</p> <p>総務事務システム及び学校支援システムの円滑な運用に取り組みとともに、両システムの連携を行う等システムの機能充実を図る。</p> <p>担当課 総合教育センター</p>	(単位：一)						基準値	H25	H26	H27	H28	H29	推進(総務事務システムの導入)						推進(学校支援システムの導入)											
(単位：一)																																	
基準値	H25	H26	H27	H28	H29																												
推進(総務事務システムの導入)																																	
推進(学校支援システムの導入)																																	

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的																																														
90	教育機関の運営体制の充実	<p>徳島県教育振興計画の進行管理 改善・見直しの実施</p> <p>担当課 教育総務課</p>	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>毎年度末に、徳島県教育振興計画（第2期）の次年度に向けた事業内容や達成目標等について検討を行い、計画の改善・見直しを実施することにより、本県教育行政の各種施策の効率的・効果的推進や組織運営の充実を図る。</p> <p>年度末に徳島県教育振興計画（第2期）の平成25年度の各事業の取組状況について確認するとともに、成果や課題、今後の取組方針等について検討した。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：一)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実施</td> <td>実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 各事業の取組状況等について確認し、それを受けて次年度の取組について検討することにより、施策の改善・見直しを図ることができた。</p> <p>(課題) 「計画・実行・評価・改善」の4段階で業務を継続的に改善する「PDCAサイクル」による見直しを、より積極的に実施する必要がある。</p> <p>徳島県教育振興計画（第2期）に基づく主要施策を対象に、点検・評価委員会を開催する。また点検・評価委員会の意見や議会の論議等を踏まえ、教育振興計画（第2期）の改善・見直しを図る。</p> <p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>外部有識者委員からなる徳島県教育行政点検・評価委員会を開催し、教育振興計画の進捗状況について、点検・評価を実施し、県議会に報告することにより、徳島県教育振興計画を着実に実施する。</p> <p>8月27日に徳島県教育行政点検・評価委員会を開催し、点検・評価委員からご意見・ご助言をいただいた。その結果に関する報告書を作成し、県議会に提出するとともに、県のホームページを通じて公表した。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：一)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実施</td> <td>実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 平成25年度は新しい点検・評価委員での初めての点検・評価委員会であり、学力問題、いじめ問題、キャリア教育など積極的な意見を頂くことができた。</p> <p>(課題) 点検・評価委員会を開催するにあたり、各所管課等との調整が不十分だった。</p> <p>平成26年度は教育振興計画（第2期）の初めての点検・評価の機会であることから、点検・評価のあり方を検討するとともに、点検・評価委員会の意見や議会の論議等を教育振興計画の改善・見直しにつなげる。</p>	(単位：一)					基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H26)	目標値(H29)	—	実施						実施	実施	(単位：一)					基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	—	実施						実施	実施
(単位：一)																																																	
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H26)	目標値(H29)																																									
—	実施						実施	実施																																									
(単位：一)																																																	
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																																									
—	実施						実施	実施																																									
91	教育機関の運営体制の充実	<p>徳島県教育振興計画の進行管理 点検・評価委員会の開催</p> <p>担当課 教育総務課</p>	<p>事業目的</p> <p>外部有識者委員からなる徳島県教育行政点検・評価委員会を開催し、教育振興計画の進捗状況について、点検・評価を実施し、県議会に報告することにより、徳島県教育振興計画を着実に実施する。</p> <p>8月27日に徳島県教育行政点検・評価委員会を開催し、点検・評価委員からご意見・ご助言をいただいた。その結果に関する報告書を作成し、県議会に提出するとともに、県のホームページを通じて公表した。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：一)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実施</td> <td>実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 平成25年度は新しい点検・評価委員での初めての点検・評価委員会であり、学力問題、いじめ問題、キャリア教育など積極的な意見を頂くことができた。</p> <p>(課題) 点検・評価委員会を開催するにあたり、各所管課等との調整が不十分だった。</p> <p>平成26年度は教育振興計画（第2期）の初めての点検・評価の機会であることから、点検・評価のあり方を検討するとともに、点検・評価委員会の意見や議会の論議等を教育振興計画の改善・見直しにつなげる。</p>	(単位：一)					基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	—	実施						実施	実施																							
(単位：一)																																																	
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																																									
—	実施						実施	実施																																									

平成 26 年度徳島県教育行政点検・評価委員会 議事概要

(開催要領)

- 1 開催日時 平成 26 年 8 月 11 日 (月) 午後 3 時から午後 4 時 30 分
- 2 場 所 県庁 9 階 教育委員室
- 3 出席者
【委員】 5 名中 5 名出席
中村昌宏会長、桑原恵委員、椎野正敬委員、高畑富士子委員、
中川朋子委員
【県】 佐野教育長、小原副教育長、松山教育次長、藤井教育次長 他

(会議次第)

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 委員及び事務局職員紹介
- 4 議 事
(1) 教育委員会の点検・評価 (案) の説明
(2) 質疑及び意見交換
- 5 閉 会

【配付資料】

- 資料 1 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の実施方針
について
- 資料 2 取組目標の達成状況 (平成 25 年度対象)
- 資料 3 教育委員会の点検・評価 (案)
徳島県教育振興計画 (第 2 期) 概要版

(1) 全般的な御意見

- 達成率が非常に高く、努力が認められる。
- 47 都道府県中の順位も重要であるが、順位の変動に左右されて良かった悪かったと言うことについては疑問を感じる。時系列で上がってきたことや目標達成したことを評価するので良いのではないか。
- 災害の対応について、地震については耐震化が進んでおり心強い。
- 災害時に歴史資料の保全を進める「歴史資料ネットワーク」がある。教育委員会における周知や災害時にレスキューに入った県外の人たちと連携ができるようにしてもらいたい。
- 自立するということを子供のときから教えないといけない。今の時代に合わせた形の食育と家事教育、なぜ働かなければいけないのかということを教えてもらいたい。

(2) 各事業に対する御意見

【2 公立高校におけるインターンシップの実施率】

- インターンシップは有効であると思う。県外の大学に行った学生が徳島に戻ってこないケースが増えている。地元に戻ってくる教育をしてもらいたい。また、サテライトオフィス企業等を活用して、徳島の情報を発信してもらいたい。
- 本来のキャリア教育とは何か。小中高や年齢によって、各段階でやるべきことをやる必要がある。また、達成率だけでなく、どういう内容で進めていくかが大事である。

【6 学校内における国際理解教育の推進】

【7 日本語教育支援の実施及び異文化に対する相互理解教育の推進】

- 大学では国際化が非常に進んでいる。語学だけの交流ではなく、真剣に勉強している留学生の態度を見て、在学生にも良い影響が及んでいる。国際交流が草の根でできており、非常に良いことである。韓国や台湾は、進学率が高い。進学率を上げて大学生を増やすことで、徳島を支える人材の層を高めることができるのではないかと期待を持っている。
- グローバル化については、徳島の文化を理解することが大切である。今後は、英語で徳島の良さを発信できることが大事である。英語を学ぶと英語が話せるようになるのではなく、英語を使って何かの経験をしていく方が、英語が身につくと思う。外国人と交流をしながら、徳島の良さ、徳島の文化や歴史を英語で発信できる若い人を育ててもらいたい。
- 食育を兼ねてグローバルを考えると、食糧問題、環境問題等もグローバルな視点で学ぶことができると思う。

【2.2 全国体力運動能力調査結果における全国順位】

- ICTを活用したランキングシステムについて、運動が苦手な子供に対してモチベーションを与えるため、身体をどう動かせば効率的に運動できるのか、どの筋肉を使えば身体のどの部分が丈夫になるのか等を知らせることが良いのではないかと。また、自分で目標値を設定できたら、目標を達成できたときに達成感があると思う。
- 鬼ごっこのように、昔、仲間と一緒に、普通にしていた遊びによって培われる運動能力がある。安全に遊びができる場の提供をしてもらいたい。

【2.4 学校給食における地場産物の活用率】

- 平成25年度に地場産物の活用率が伸びていることは素晴らしい。県産の肉や魚が価格の問題で活用困難であったということは残念である。
- 地場産物を使ったとき、どこで採れているか、子供たちに知らせているのは良いことである。